

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0566
施設名	さつき保育園
施設所在地	東京都八王子市大楽寺町 347-1
法人名	社会福祉法人報徳福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

森の探求プログラム

<テーマの設定理由>

園庭の木製遊具は子ども達のお気に入りの場所の一つ。長年愛されてきたその木製遊具も、経年劣化によって建て替えることになりました。工事の様子を見ながら、ワクワクしている反面、寂しそうでもあった子ども達。卒園児の口から「なんであたらしくしたの?」という声が聞かれる時もありました。ともあれ、完成すると皆で大いに喜び、すぐにお気に入りの場所になりました。それから2年半が経ち、新たに毎日の子供達の遊び相手となったNEW木製遊具は、思い出と共に少しずつ傷も増え、色も変わり、当初とはまた一味違った味わいが出てきました。そろそろ塗料を塗り直した方が良いタイミング。そんな話を職員同士でしていると、「なんで?」と疑問を持った様子の子供達。この機会に、単なるモノとしての「木」ではなく、生き物としての「木」を子供達と一緒に見つめ直してみたいと思い、テーマに設定した。

2. 活動スケジュール

9月30日 素材を知り、あそぶ。
11月 5日 素材を使い、体感する。
1月28日 直し、育て、共存する。①
3月 6日 直し、育て、共存する。②

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ブルーシート、木っ端、ボンド、グルーガン、カンナクズ、木枠、ポスカ、絵の具、パレット、マキンバ、廃材、タイヤ、古楽器、楽器、段ボール、マルタネット、机、ペットボトル、どんぐり、ペンキ、ハケ、ローラー、軍手、植物、種、丸太、ロープetc.

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①素材を知り、あそぶ。
(森と素材と端材のワークショップ、カンナクズプール、木育先生)
- ②素材を使い、体感する。
(森の素材の音楽会、マルタネット作り)
- ③直し、育て、共存する。
(園庭遊具の手直しワークショップ、植物を植えて育てるワークショップ)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

まず、参加するかどうか子ども達自身が選択し、活動場所も子ども達自身が選択した。これによって、活動の先頭が大人ではなく子どもになっている場面が多く見られ、その時々心の揺れ動きがダイレクトに活動に反映されている様子だった。遊び込めている子どもが増えることで、保育者の声掛けからも注意が極端に減り、ポジティブな会話や共感に溢れる時間になっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然物と道具との違い。道具には元々役割が決められているが、自然物にそれはない。それをどう見立てれば、「面白い」「楽しい」に繋がるのか、子ども達は潜在的に分かっているように感じた。そして、見立てずとも、自然物そのものが持っている手触りや安心感は、それを手にしているだけで誇らしげに見える子ども達の横顔が物語っていた。